



CIC Japan 合同会社

報道関係各位

「東京都TIB CATAPULT『Global CityTech Bridge』」

2026年度採択プロジェクトの第一弾6件を決定！

～ウェルビーイング、サステナビリティ、アクセシビリティ。

東京の都市課題解決を目指すスタートアップ×大企業の共創プロジェクトが始動～

CIC Japan（本社：東京都港区虎ノ門、CEO：デニス・メドリンカ、以下CIC）のスタートアップ成長支援組織CIC Catalystは、東京都より受託した「東京都グローバルイノベーションに挑戦するクラスター創成事業」において実施する「Global CityTech Bridge」の2026年度の採択プロジェクト第一弾を決定しましたのでお知らせします。

今年度は多数の御応募の中から、書類審査とマッチングを経て、下記の6件のスタートアップと事業会社の共創プロジェクトを第一弾として採択いたしました。

TIB CATAPULT Global CityTech Bridge

2026年度 採択プロジェクト発表 第一弾

Global CityTech Bridgeは、CIC Catalystが運営するCityTech（大都市関連テクノロジー）のイノベーション創出と社会実装を目指すクラスター。2024年に活動を開始し、これまで合計20件を超えるプロジェクトを支援してきました。

オフィス緑化を装飾から投資へ 働く人のウェルビーイングを向上 Hito Hana 三菱地所	屋内ナビゲーションで 移動に不安のある人の外出を支援 ASHIRASE WHERE?	繰り返し使えるショッパーで 店舗の使い捨て包装を削減 comvey Tree of life 生活の木
デジタルツインで 駅の多言語案内表示の改善を支援 cluster JR東海	植物内生菌で オフィス内水耕栽培の収量を向上 endophyte JR東日本 JEBC	AR×屋内位置特定で 建設現場の施工管理を効率化 Nefront 清水建設

CIC CATALYST

CICではこれらのプロジェクトに対し、社会実装に向けた実装支援金の提供や成長支援、海外展開支援など、多面的な支援を行っていきます。

プロジェクトの成果などについては2027年2月の成果報告会にて発表予定です。

2026年度採択プロジェクト発表第一弾

オフィス緑化を装飾から投資へ
働く人のウェルビーイングを向上



“オフィス緑化を装飾から投資へ、
DXで働く人のウェルビーイングを向上”

- ・採択スタートアップ：株式会社Beer and Tech
(<https://www.beerandtech.com/>)
- ・実装パートナー：三菱地所株式会社
(<https://www.mec.co.jp/>)

プロジェクトの概要： オフィス緑化にて曖昧だった緑化の価値を可視化/データ化し設計から発注、維持運用までを一貫して担うDX・IoTソリューションを構築します。AIを活用して効果的な緑化設計をオンラインで完結させ、働く人の生産性・ウェルビーイング向上と維持管理コストの削減を段階的に目指します。

社会実装パートナーの役割： 実証フィールドを提供するとともに、得られた成果のグループ展開を進めます。また、三菱地所グループの顧客基盤を活かした販売促進に協力します。

AR×屋内位置特定で
建設現場の施工管理を効率化



AR×屋内位置特定で
建設現場の施工管理を効率化

- ・採択スタートアップ：株式会社Nefront
(<https://www.nefront.com/>)
- ・実装パートナー：清水建設株式会社
(<https://www.shimz.co.jp/>)

プロジェクトの概要： AR技術と屋内位置特定技術を活用した現場管理サービスを建設現場に導入します。位置情報付きQRコードにより巡回時の指摘記録や関係者間の共有をデジタル化・一元化し、施工管理・点検業務の効率化と現場の安全性向上を目指します。

社会実装パートナーの役割： 実証フィールドとして自社の建設現場を提供し、現場ヒアリングを通じた要件整理や運用面のフィードバックを行うとともに、導入現場の順次拡大に取り組みます。

**デジタルツインで
駅の多言語案内表示の改善を支援**



デジタルツインで

駅の多言語案内表示の改善を支援

- ・採択スタートアップ：クラスター株式会社
(<https://corp.cluster.mu/>)
- ・実装パートナー：東海旅客鉄道株式会社
(<https://jr-central.co.jp/>)

プロジェクトの概要： 駅構内の図面からデジタルツインを構築し、多言語サインの効果をメタバース上で事前に検証・改善する手法の確立を目指します。行動データ基盤「Cluster INSIGHT」で動線や視線を分析し、人手に依存しない案内改善の仕組みを構築します。

社会実装パートナーの役割： 駅構内の図面を提供するとともに、現場の案内係が持つ知見を共有し、開発要件の定義や検証、導入を支援します。

**繰り返し使えるショッパーで
店舗の使い捨て包装を削減**



繰り返し使えるショッパーで

店舗の使い捨て包装を削減

- ・採択スタートアップ：株式会社comvey
(<https://comvey.jp>)
- ・実装パートナー：株式会社生活の木
(<https://www.treeoflife.co.jp/>)

プロジェクトの概要： EC配送向けリユース梱包「シェアバッグ®」の知見を活かし、実店舗向けの繰り返し使えるショッパーを開発・導入します。返却導線や追跡管理の仕組みまで含めて設計し、使い捨て包装の削減と循環型の消費行動の定着を目指します。

社会実装パートナーの役割： 店舗での実証機会を提供し、店舗運営を通じたデータ収集と運用改善に協力するとともに、顧客基盤を活かした普及に取り組みます。

**植物内生菌で
オフィス内水耕栽培の収量を向上**



植物内生菌で

オフィス内水耕栽培の収量を向上

- ・採択スタートアップ：株式会社エンドファイト
(<https://endo-phyte.com/>)
- ・実装パートナー：東日本旅客鉄道株式会社
(<https://www.jreast.co.jp/>)、

株式会社JR東日本ビルディング (<https://www.jebl.co.jp/>)

プロジェクトの概要： 都市の遊休空間に植物内生菌資材を併用した水耕栽培システムを設置し、従来より低コストで閉鎖型植物工場に近い収量を実現します。収益性の高い新たな都市型水耕栽培の普及を通じ、都市における食料安全保障と農福連携の推進に貢献します。

社会実装パートナーの役割： 実証フィールドを提供するとともに、顧客・施設ネットワークを活用した展開支援に協力します。

**屋内ナビゲーションで
移動に不安のある人の外出を支援**



屋内ナビゲーションで

円滑な屋内移動を実現

- ・採択スタートアップ：株式会社Ashirase
(<https://www.corporate.ashirase.com/>)
- ・実装パートナー：株式会社WHERE
(<https://where123.jp/>)

プロジェクトの概要： 屋内ナビゲーション「IndoorFlow」の社会実装に取り組みます。視覚障がいのある方や車椅子・ベビーカー利用者、訪日外国人の円滑な屋内移動を支援するとともに、施設側の人手不足や多言語案内の課題解決・回遊性向上を目指します。

社会実装パートナーの役割： オフィス内に「IndoorFlow」のデモ環境を常設し、顧客基盤も活用しながら販売促進を行う。

Global CityTech Bridge について

<https://jp.cic.com/tib-catapult/>

"Global CityTech Bridge"は、CityTech（大都市関連テクノロジー）のイノベーション創出と社会実装を目指すものです。運営はCIC Catalystと清水建設株式会社が共同で担い、社会実装パートナーとともに、スタートアップに対して、大企業とのマッチング、実証機会の提供、社会実装に対する経済的支援、海外市場展開支援、PR機会の提供などを行います。今後、スマートシティ、モビリティ、エネルギー、脱炭素、資源循環、防災・レジリエンス等に関するソリューションを、課題先進都市である東京で実証・社会実装し、東京での実装例をもって海外展開を目指します。

また、海外展開においては、英国のConnected Places Catapult、米国のAnywhere Ventures、シンガポールのTribe、韓国のSCCEI（ソウル創造経済革新センター）、台湾のGarage+・LITEON+と連携し、海外大都市へのプロダクト展開支援を実施しています。

これまで、Global CityTech Bridgeで採択したプロジェクトは、2024年度採択11件、2025年度採択9件、合わせて20件にのびります。

TIB CATAPULT について

<https://tibcatapult.metro.tokyo.lg.jp/>

東京都では、都が運営するイノベーション拠点「Tokyo Innovation Base」(TIB)を起点に、成長可能性が高い技術や産業の分野を集中的に支援するため、令和6年度から「グローバルイノベーションに挑戦するクラスター創成事業(通称「TIB CATAPULT」)」を実施しています。この事業は、大企業や投資家など複数の事業者による共同体「イノベーションクラスター」が、それぞれの強みを生かして、グローバルなスタートアップを育てていくことを支援するものです。

CIC Catalyst について

<https://jp.cic.com/innovation-program/>

「CIC Catalyst（シーアイシー・カタリスト）」は、CICにおけるイノベーション・コンサルティングおよびスタートアップの成長支援を行う組織です。事業会社、投資家、政府機関、大学研究機関等と連携し、最先端のテクノロジーを持つスタートアップの創出・スケールアップ、およびエコシステム構築を支援しています。これまでに、グローバルで100以上のプログラムを提供し、700社を超えるスタートアップ企業の事業成長や海外展開を支援してきました。支援したスタートアップが調達した資金は累計170億ドル（約2.5兆円）に達しています。また、17のイノベーション地区の活性化に向けたコンサルティング・アドバイザリーを実施しています。

【お問い合わせ】

Global CityTech Bridge 担当：飯田、伊丹、エフントウル、溝手（catapult@cic.com）